



ライフドアすわ

地域ケア会議通信

発行：諏訪市地域医療・介護連携推進センター ライフドアすわ

〒392-0027 諏訪市湖岸通り5-12-5 Tel:0266-78-0477

e-mail: info@lifedoor-suwa.jp



第2回地域包括ケア推進会議を開催しました

新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催となった諏訪湖祭湖上花火大会は、心配された台風の進路がそれ、夜空を焦がす光と音の競演で、訪れた大観衆を魅了し幕を閉じました。

さて、連日の猛暑が続く中、本年度第2回となる諏訪市地域包括ケア推進会議が、8月24日に開催され、介護支援専門員をはじめ看護師、薬剤師など37名の皆さんにご参加いただきました。

今回は、傷病により一時的に日常生活に制約を受けるようになって通所型サービスの利用を開始した2つの事例について「本人のしたいこと・できるようになりたいこと」に視点を置いたとき、その実現に向けた支援はどんなことができるのか」をテーマに意見が交わされました。

【第2回諏訪市地域包括ケア推進会議】

- *日 時 8月24日(木) 13:30~15:00
- *場 所 諏訪市総合福祉センター交流ひろば
- *参加者 37名
- *内 容
 - ① 開会
 - ② あいさつ
 - ③ プレゼン(会議の目的、ルールについて)
 - ④ ケース検討×2 ケース
 - ◆ ケース概要説明
 - ◆ 意見交換
 - ⑤ 全体のまとめ(振り返り)
 - ⑥ 閉会



ケース検討

事例 1

(ケースの概要)

本人の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・78歳男性 要支援1（室内は杖歩行、外出は支援が必要） ・障害自立/認知症：J2/自立 ・[身長] 163 cm [体重] 67 kg [BMI] 25.5 ・自宅に浴室がなく、共同浴場を利用していたが、両側変形性膝関節症の痛みにより2カ月ほど前から共同浴場まで歩けなくなり、通所型サービスを開始し週1回入浴している。
家族の状況	一戸建てに妻と二人暮らし。娘は東京在住、関係は良好。
通院・服薬	内科：高血圧症（通院中）／泌尿器科：前立腺肥大症（通院中） 整形外科：両側変形性膝関節症（通院なし）
服薬情報	内科：ニフェジピン（降圧剤）、ヒドロクロロチアド（降圧剤）、ラッグピー（整腸剤） マグミット（緩下剤） 泌尿器科：シドロシン（前立腺肥大症治療薬）
生活課題	<ul style="list-style-type: none"> ・両側変形性膝関節症の痛みがあり、食事、トイレ、妻に頼まれた家事（皿洗い、掃除機かけ）以外はベッドに横になってテレビを見ていることが多い。 ・筋力が低下して外出困難となり、歩行器の使用を試みるも共同浴場まで行かれないため、入浴のみの支援を希望して窓口を訪れ、介護保険以外の支援を検討したが、本人・家族が納得する利用方法が見つからず、通所型サービスを利用して入浴を行うこととなった。 ・本人は気力が低下し、リハビリに取り組む気がない。 ・妻は認知面が低下しており、元々の夫婦の関係性もあって本人への手助けは困難。
望む暮らし	・今の家で妻と協力して二人暮らしを継続したい
利用サービス	・通所型サービス（1日型）1回/週 ※インフォーマルサービスなし。
モニタリング	・本年7月より通所型サービス利用開始。本人は入浴のみで帰宅を希望するが、家族が専門職の見守りを希望し、1日型のサービス利用を継続中。
話し合いのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪の地域柄自宅に浴室がない世帯が多く、ADLが低下し共同浴場を利用できなくなると基本チェックリストを受けて通所型サービスを利用するというケースが増加している。 ・本人の気力を引き出すためにはどんな支援が必要か。

(主な意見)

- ・「共同浴場に行かれない」という問題には、自宅から浴場までの移動の問題なのか、浴槽をまたぐことや着替えなど利用上の問題なのかをアセスメントで明確にして対応する必要がある。
- ・元気館などへのお風呂に絞った巡回バスがあったらいい。
- ・地区によっては、時間帯を決めて家族やヘルパーの介助浴を認めている浴場もある。
- ・諏訪市では、共同浴場のバリアフリー化に関する「共同浴場施設整備事業補助金」制度がある。
- ・デイサービス事業所などで、介護保険サービスの利用者さんの入浴時間帯以外の時間帯に入浴だけさせる事業があるといい→自主事業として、送迎付きの入浴サービスを行っている事業所がある。
- ・諏訪市では、本年度新たに理学療法士の同行訪問事業をスタートした。本人の身体の状況や住居の環境などに合わせたアドバイスを行っている。本事例についても活用を検討したい。
- ・社会参加が苦手な男性も多く、本人の意欲を引き出すため、男性に特化した居場所の検討が必要。

事例2

(ケースの概要)

本人の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・79歳女性 事業対象者 ・障害自立/認知症：自立/自立 ・[身長] 151 cm [体重] 63.8 kg [BMI] 28.0 ・本年5月に布団を持ち上げようとして尻もちをつき、腰椎圧迫骨折をした。痛みのため安静にしていたら筋力が落ち、歩行能力の低下を訴え、運動系の通所型サービスの利用を希望し来所。
家族の状況	一戸建てに夫と二人暮らし。長男、長女が県内に在住、関係は良好。
通院・服薬	内科（通院中）：めまい、高血圧症（内服薬処方） 整形外科（通院中）：腰椎圧迫骨折（注射）、脊椎館狭窄症（内服薬処方）
服薬情報	内科：オルメサルタン OD（降圧剤）、ラベプラゾール Na（胃薬） フェルムカプセル 100（貧血治療）、メトワロプラミド（消化管活動） メリスロン（めまい改善）、カルナクリン（血流改善）、アデホスコワ（めまい） 整形外科：ラロキシフェン塩酸塩 60（骨粗鬆症）、ロルノキシカム（消炎鎮痛剤）
生活課題	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことはできているが、腰椎圧迫骨折によりコルセットを使用。痛みもあり安静にしていたため筋力が落ち、家の中では何かにつかまりながら、外出時は4点杖を使用。 ・交友関係が広く、市の一般介護予防教室、公民館やサークル活動の参加などアクティブに生活を送っていたが、腰痛によりそれらはすべて休止。
望む暮らし	・コルセットが外れ、骨折する前と同じ生活に戻りたい。介護保険のサービスはまだ早い。
利用サービス	・通所型サービス（1日型）1回/週
話し合いのポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・腰椎圧迫骨折のため歩行状態は以前より悪くなったが、身の回りのことや家事は自立しており、さまざまな場所で人との関わりがある。 ・筋力低下を実感しているが、以前のような自立した生活を送るための支援を考えたい。

(事例の選定理由)

- 腰椎圧迫骨折による痛みがあり、活動の制限はあるものの、ADL、IADLともに自立している。自ら利用したい事業所を指定し、チェックリストを受けサービスに繋がった。このようなケースは増加傾向にあり、介護保険事業費の増大につながっている。

(主な意見)

- ・あらゆる専門職が、本人の“したい・できるようになりたい”を大切にし、一般介護予防教室や公民館などの生涯学習活動、地域で行われているインフォーマルサービスや居場所などの情報を共有しながら地域の活動への参加に結びつける自立支援マネジメントを実践したい。
- ・アセスメントを行う際に、本人の“したい・できるようになりたい”という目標のレベルや時期の設定を行い、モニタリングにより進捗を確認しながら、目標に到達した場合は、その先の日常生活や居場所などを丁寧に話し合い、本人が納得し安心して「卒業」できるような後押しが大切ではないか。
- ・市の一般介護予防教室のほか地域でもさまざまな教室やサークル活動などが行われており、そうした場所に参加するための移動支援があるといい。
- ・この事例のようにケガや疾病をきっかけに介護サービスを利用する方が増えており、これからの高齢者人口の増加を考えると、医療と介護の連携による取り組みがさらに重要になる。

本年度地域包括ケア推進会議で検討したいこと

データを深掘りしていくと何が見えてくるか？

- ・諏訪市の介護保険にかかわるデータを見ていくと、近年、通所型相当（従前）サービスの利用が増えていることがわかります。通所型サービスの魅力や利用者のニーズはどこにあるのか？ここを深掘りしていくことで、本人の“したい・できるようになりたい”願いを叶えるために活用できる社会資源にはどんなものがあるか、改善や工夫が必要であったり足りないサービスはどんなものがあるかなどが見えてきます。

通所型相当（従前）サービスの魅力、ニーズはどこにあるのか？

魅力・ニーズ

- ・骨折など整形疾患の悪化により、筋力が低下したので運動がしたい
- ・共同浴場に行っていたが、自宅に浴室がないので入浴が困る
- ・知り合いが通っているから一緒に行きたい
- ・送迎付きだから

地域包括ケア推進会議で検討したいこと

既存の社会資源、新たな支援

- ・行政や地域では様々な運動教室やサークル活動が行われているが、周知は？
- ・短期集中的に運動を提供して元の生活に戻すことはできないだろうか
- ・送迎付きの一般介護予防教室があったら利用があるか
- ・介護保険サービス以外の入浴支援は？

- ・「地域包括ケア推進会議」では、総合事業で目指している介護予防ケアマネジメントの方向性として、アセスメントに基づき、本人に必要な支援や場所を**介護保険に限定せず幅広く探して組み合わせる**介護予防マネジメントを目指して話し合いを行います。ぜひご参加ください。

次回の「諏訪市地域包括ケア推進会議」は11月16日です

日時・場所

第3回：11月16日（木）

第4回：2月15日（木）

いずれも13：30から

諏訪市総合福祉センター

3階交流ひろば

申込QRコード



申込方法

QRコードまたはメールで

※メールでお申し込みの場合は、氏名、所属名、電話番号
職種、参加証希望の有無を入力してください。



地域包括支援センター Tel：0266（52）4141（内線296）

ライフドアすわ Tel：0266（78）0477 E-mail：info@lifedoor-suwa.jp